

趣味

大分の港風景

佐藤 睦典

私は昨年6月末、長年勤めた社労士事務所を退職し、7月に「サトウ海事労務事務所」を立ち上げ、独立開業しました。業務内容は、海事代理士業務と社会保険労務士業務の2本柱です。3年前に海や港、船に興味を持ち、海事代理士の資格を取りました。

現在、趣味で大分の海や港を出入りする船の風景写真を撮っています。大分の港にはいろいろな種類の船が出入りし、船好きを飽きさせません。撮影しているうちに大分の港風景のとりこになってしまいました。ほんの一部ですが、ご紹介したいと思います。



備南開発(株)のバージ船“天后”にWestports Malaysia向けのガントリークレーンを3基積んでいます。このガントリークレーンは三井造船大分事業所で製作され、1基が約7億円するそうです。



平成25年11月21日、大在公共埠頭に停泊中の“ナッチャン World”。島嶼侵攻対処訓練に参加していた部隊が陸揚げされ、翌22日第2師団の車両が積み込まれました。



平成26年7月25日、「第35回大分県少年の船」が実施されました。画像は“ぱしふいっくびいなす”が沖縄に向け大在公共埠頭を出港するところです。



浮体式潮流・風力ハイブリッド発電〔skwid〕を香川県多度津から佐賀県唐津へ回航中、下部の水車部分が脱落するトラブルがあり、平成25年10月17日、日吉原埠頭に戻ってきました。

大分港は今年、開港50周年を迎えます。9月にはいろいろなイベントが行われる予定です。この50周年記念事業を盛大に盛り上げ、これを契機に、私は平成28年「海フェスタおおいた」の誘致を考えています。東九州自動車道が開通し、4月には駅ビルも開業しました。大分には海の観光資源がたくさんあり、海の幸も豊富です。県南には多くの造船所もあります。瀬戸内にも面し、関西方面からのアクセスも便利。大分の海の魅力を「海フェスタおおいた」で最大限にアピールできるものと信じています。皆さんもぜひ、大分の海、港、船に関心を寄せてみてはいかがでしょうか？